



うみねこ

第11号

2006年
4月24日(月)

新日本石油精製株式会社 仙台製油所

〒985-0901 仙台市宮城野区港5-1-1
電話番号 022-363-1122、フリーダイヤル 0120-330-201

<http://www.eneos.co.jp/company/gaiyou/jigyousho/sendai/index.html>

地域の皆様には、日ごろより仙台製油所の操業にご理解をいただきありがとうございます。今回は製油所の定期点検と新設装置建設についてお知らせいたします。近隣地域の皆様には、できる限りご迷惑をお掛けしないように努力いたしますので、ご理解の程、よろしくお願い申し上げます。

定期点検について

定期点検の概要

本年度の定期点検は、全ての精製設備を対象とした点検を予定しており、6月2日(金)より順次精製装置を停止し、開放・清掃・詳細点検を行い、7月下旬にかけて順次装置の立ち上げを行い運転を再開いたします。

交通渋滞の緩和策について

定期点検期間中は、1,600台の工事用・通勤用車両が入構するものと見込まれます。渋滞緩和対策として、1,600台のうち700台を当所西門および北門から構内に入構させる予定となっております。(西門; 工事用車両200台、北門; 通勤用車両500台)さらに、協力会社および当所工事担当者は早め出社(時差出社)するようにいたします。また、地元の方々にご迷惑をお掛けすることのないよう、交通安全などについても十分に指導いたします。



フレアースタックの炎について

装置の運転停止・開始時には一時的にフレアースタックの炎が大きくなる場合があります。現時点で、フレアの炎が大きくなると思われる期間は以下のとおりですが、実際にはその都度広報車等によりご連絡いたします。

6月2日(金)～6月20日(火)	7月15日(土)～7月30日(日)

点検の進行状況によっては、期間が変更となる場合があります。

新設装置建設概要

当所は、中国を中心とした石油化学製品の需要拡大をにらみ、石油化学原料の増産、この設備から発生する副生ガスを燃料とした高効率発電設備を設置することにより、製油所の自家使用電力をまかなうとともに、発電余力を利用した電気小売(PPS)事業を推進するため、以下の装置を建設することといたしました。この建設工事につきましても、定期点検と同様に地域の皆様にご迷惑をお掛けしないように努力いたします。

<新設装置概要>

装置名称	生産品	生産能力
連続触媒再生式 接触改質装置	キシレン	30万トン/年
ベンゼン分離装置	ベンゼン	6万トン/年
プロピレン分離装置	プロピレン	10万トン/年
ガスタービン発電装置	電力	約10万kw

<生産品の用途>

キシレン ペットボトル
化学繊維(ポリエステル等)
ベンゼン 合成樹脂(ナイロン等)、
合成洗剤、自動車部品など
プロピレン 自動車部品、電気機器部品など

設備投資額 約600億円
運転開始時期 2007年10月頃(予定)

<スケジュール>

	2005				2006				2007			
	4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1
現地工事					●	●	●	●	●	●	●	●
発電設備試運転										●	●	●
精製装置試運転										●	●	●

運転開始